激励！視察！海上幕僚長ほか陸海自将官、長崎を続々訪問!!

■海上幕僚長・齋藤聡海将との記念撮影

自衛隊長崎地方協力本部（本部長 佐々木昌貴1等海佐）は、陸上自衛隊及び海上自衛隊の高級指揮官による激励・視察を受けた。

令和7年5月21日、佐世保地方総監・福田達也海将の激励訪問を受け、福田総監と海上自衛官の部員とで百家争鳴な意見交換を交わされた。

続く6月13日、海上幕僚長・齋藤聡海将が激励に訪れ、齋藤海幕長もまた海上自衛官の広報官との意見交換に臨まれ、朗らかな中にも鋭い議論を交わされた。

齋藤海幕長は佐世保市出身であることから、長崎地本訪問に先立ち佐世保を訪問され、宮島大典市長から「佐世保にお帰りなさい」と歓迎されたほか、母校の長崎県立佐世保南高校を訪問した際には、学校長以下職員生徒から熱烈な歓迎を受けるなど、齋藤海幕長の人気の高さが垣間見えた。

更に6月17日には、西部方面総監・荒井正芳陸将による初度視察を受け、長崎県の地理的・歴史的特性を改めて認識された。荒井総監と、本部長以下部員との意見交換会においては、日頃の業務に対し、労いの言葉をいただくとともに、今後より一層の連携強化を図るための有意義な時間となった。

今回の激励、視察において、各指揮官には募集環境と再就職市場の厳しい現状を改めてご認識頂き、奮闘する地本部員一同に対して熱烈な激励の言葉を頂いた。

海上幕僚長、西部方面総監、佐世保地方総監それぞれからの薫陶を胸に、7月1日から解禁される高校生の募集活動及び各種広報イベントにおける自衛隊への興味と関心の促進と、志願者の獲得に取り組むとともに、より一層手厚い就職援護及び予備自衛官等の招集訓練に邁進する。

自衛隊長崎地方協力本部は、今後も各課・各所・各センター一体となった総力戦をもって、年々過酷さを増す就職・再就職市場を最後まで戦い抜き、一人でも多く隊員を獲得するとともに、円滑な再就職を一件でも多く支援していく所存です。

（募集課　広報班）

■佐世保地方総監・福田達也海将との記念撮影

■西部方面総監・荒井正芳陸将との記念撮影

長崎地本だより
発行所
自衛隊長崎地方協力本部
長崎市出島町2番25号
TEL 095-826-8844

長崎地本公式 HP

長崎地本公式 X

長崎地本公式 Instagram

国家を守る、公務員。
自衛官募集中

◇自衛官のことや募集についての詳細は、自衛官募集のホームページをご覧ください → https://www.mod.go.jp/gsdf/jieikanbosyu/

きみも今日から自衛官！制服・車両・操縦桿体験にドキドキ!!

■ガチャガチャが大盛況！

■海上自衛隊制服試着

■鉄帽等試着

■パイロット体験

自衛隊長崎地方協力本部（本部長　佐々木昌貴1等海佐）は5月5日、出島メッセ長崎（長崎市尾上町）にておいて実施された「DEJIMA博2025こどもジョブチャレンジ」に参加した。

こどもジョブチャレンジとは、長崎国際テレビ（NIB）が企画するDEJIMA博のイベントのひとつであり、各種企業が子供向けのお仕事体験を提供し子供達が様々な企業体験ができるという毎年人気のイベントである。

自衛隊長崎地方協力本部は、広報ブースを出展し、模擬操縦桿によるパイロット体験、ミニ制服試着体験やカプセルトイによるグッズ配布などを実施した。操縦桿はそのリアルな造形から子供のみならず大人からも好評で多くの集客があった。また、本イベントには第16普通科連隊（連隊長　土肥崇紀1等陸佐）から支援を受け、高機動車の見学や鉄帽（ヘルメット）・背のう等の試着体験を実施し、多くの注目を集めた。このコーナーでは、本物の鉄帽や訓練時と同じ重量に準備された背のうを着用できる滅多にない機会ということで人気を集めた。実際に体験した方々からは「すごく重い」や「カッコイイ」などの声が聞こえ、多くの方々から好評をいただいた。

本イベントでは、大人から子供まで幅広い年齢層に楽しんでもらえる内容を用意し、1500名を超える来場者に自衛隊をより身近に感じてもらうことができた。

自衛隊長崎地方協力本部は、今後も各種イベントにおいて様々なニーズに応じたブースを出展し、積極的な募集広報活動に努めていく所存です。

（募集課　広報班）

CH-47JA 体験搭乗

■記念撮影

■機体見学

自衛隊長崎地方協力本部（本部長　佐々木昌貴1等海佐）は、令和7年5月25日（日）、第109飛行隊（高遊原）（隊長　高橋忍2等陸佐）の支援を受け、相浦駐屯地において、陸上自衛隊の輸送ヘリコプターCH―47JAの体験搭乗を実施した。

当日は募集対象者等9名が参加し、はじめに副機長以下3名の搭乗員からCH―47JAの概要説明、山林火災の消火活動における活躍の様子が紹介されたのちに、搭乗時の注意事項及び不測事態発生時の対処要領等の説明を受けて、機体見学及び体験搭乗が開始された。

機体見学は、大迫力のヘリコプターに興味津々の様子で、熱心に質問する姿や、写真撮影を楽しむ様子が見られた。

また、体験搭乗においては、回転するローターの迫力に驚きの表情を浮かべながら機内に搭乗する様子も見られたが、体験搭乗終了後には「初めてヘリコプターに乗ることができて感動しました。」「とてもいい思い出になりました。」など、喜びの声が多く聞かれた。

自衛隊長崎地方協力本部は、今後もこのようなイベントを通じて、より多くの方々に自衛隊に対する理解を深めることに努め、自衛隊の魅力を発信していく所存です。

（募集課　広報班）

自衛隊 Job Guidance ジョブガイダンス

■広報官及びリクルーターによる募集説明

■リクルーターとの懇談

■制服試着及び模擬コクピット体験

自衛隊長崎地方協力本部（本部長　佐々木昌貴1等海佐）は、令和7年5月25日（日）、防衛省長崎合同庁舎において、自衛隊ジョブガイダンスを開催した。

本ガイダンスは、自衛隊長崎地方協力本部が従来実施していた募集説明会とは異なり、①採用種目の募集説明コーナー、②制服試着、模擬コクピット体験、動画視聴などの広報展示コーナー、③リクルーター等との懇談コーナーを開設し、募集対象者及び保護者に対する複合的な自衛隊の魅力の訴求を目的として計画したもので、参加者が気軽にアプローチできるように入退出自由とした。

当日は、より募集対象者の年齢に近い陸上自衛隊及び海上自衛隊のリクルーターを招致するとともに、近傍募集事務所の支援を得てジョブガイダンスをスタートした。

事前に自衛隊ジョブガイダンス告知用のデザインを作成し、ポスター貼付、フライヤー配布、SNS掲載により広く参加者を募ったこともあり、午後1時30分から4時までの短時間の開催にもかかわらず、多くの参加者を得ることができ、新たな募集対象者情報獲得にも繋がった。特に、制服等を着用しての模擬コクピット体験は、多くの参加者に好評であった。

自衛隊長崎地方協力本部は、今後もより多くの募集対象者に自衛隊の魅力を周知し、興味・関心を持ってもらい、志願者や入隊者の増加に繋がるように、自衛隊ジョブガイダンスを継続的に開催していきます。

（募集課　計画班）

◇地本だよりはホームページでも配信しています。→ https://www.mod.go.jp/pco/nagasaki/dayori/index.html

みなと街させぼ！魚もんもギョーさん集まれ!!
2025 ぎょぎょフェス in させぼ五番街
広報ブース参加

自衛隊長崎地方協力本部 佐世保出張所(所長 穴井俊光3等海佐)は、令和7年4月26日(土)に、させぼ五番街で開催された「ぎょぎょフェス2025」に参加した。

「魚」をテーマにした海産物を味わうグルメコーナーや「九十九島ひらまさ」のつかみ取り体験・海鮮プロレスで笑い、地元高校吹奏楽部の演奏が彩りを添える「見る・食べる・体験する」をコンセプトに毎年多くの来場者が足を運び、佐世保市民と一体感を感じられる催しとなっている。

佐世保出張所の募集広報ブースでは、装備品展示(1／2tトラック)・VR体験・ミニ制服試着コーナー・背嚢・なまころちゃん記念撮影・カプセルトイ等を企画した。

特にカプセルトイでは、ハラハラ?ドキドキ!感を味わってもらうためカプセルの中に「大当り(記念グッズ詰合)」が、それ以外には、佐世保在籍艦艇及び、水陸機動団所属各部隊のロゴマーク入り缶バッチが当たるもので、カプセルを開ける度に一喜一憂していた。

また、人気のミニ制服試着コーナーでは、胸を弾ませ照れながら迷彩服に身を包み、パジェロに乗車し「未来の陸上自衛官」さながらの我が子の姿を撮影する母親の姿が印象的だった。海上自衛隊佐世保地方隊の人気キャラ「なまころちゃん」は子供達の認知度が高く、「いつくるの?」と登場を待っている子供たちの人気を独り占めにしていた。

自衛隊長崎地方協力本部佐世保出張所は、今後も県北地域で企画される各種イベントに積極的に参加し、「市民と共に愛される」防衛省・自衛隊として成長し、より多くの市民の理解を得ながら、志願者獲得を推進していく所存です。

(佐世保出張所)

■装備品展示

■制服試着

■海上自衛隊(なまころちゃん)と海上保安庁(うみまるくん)のゆるキャラ共演

■募集広報ブース

■ハピネスアリーナ場外特設ブース

■展示車両を多くの人が見学

■ハピネスアリーナでのイベント

自衛隊長崎地方協力本部 長崎募集案内所(所長 森田秀喜1等陸尉)は、令和7年5月4日(日)、長崎スタジアムシティ・ハピネスアリーナで実施されたハピネスキッズフェスティバルにおいて、募集広報ブースを出展した。

ハピネスアリーナキッズフェスティバルは、ジャパネットグループで地域創成事業を担うリージョナルクリエーション長崎が主催するイベントで、5月3日(土)～5月5日(月)のゴールデンウイーク期間中に体を思いっきり使って楽しめる「ふわふわアクティビティ」を始め、大迫力のモンスタービジョンで行われる大人気テレビゲーム、「仮面ライダーショー」、「はたらくくるま大集合!」など、大人も子供も一日中楽しめる内容となっていた。

長崎募集案内所は、ハピネスアリーナ場外特設ブースにおいて自衛隊車両展示(パジェロ)やミニ制服試着体験コーナーを開設、ブースには、多くの家族連れが訪れ、ミニ制服を試着した子供達が展示車両の前に立って記念撮影をしたり展示車両を見学したりする等、自衛隊を身近に感じていただいた。

イベント来場者は約4500名であり、ブース来訪者は約1000名にのぼった。

自衛隊長崎地方協力本部 長崎募集案内所は、今後も長崎市内の様々なイベントに参加し、多くの若者に自衛隊への理解を深めてもらい、志願者の増加に繋がるよう引き続き積極的な募集活動に努めていきます。

(長崎募集案内所)

防災
令和7年度 長崎県総合防災訓練

■県知事によるYDT05と海保船舶連携状況確認(新上五島町)

■広報ブースの展示(五島市)

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 佐々木昌貴1等海佐)は、5月31日(土)新上五島町の青方港及び五島市の中央公園市民体育館で行われた令和7年度長崎県総合防災訓練に参加した。本訓練は各種災害から県民の生命・身体・財産を守るため、自衛隊、警察、消防等、防災関係機関の連携の強化と有事即応態勢の確立、防災意識の高揚・普及を目的として、毎年、梅雨に入る前の5月に実施されており、今年は関係機関あわせて約450名が参加した。

各機関は、五島列島で断続的に雨が続き土壌雨量指数が高い状態の中、新上五島町及び五島市で震度6の地震が起き、がけ崩れに伴う道路の寸断及び橋の損壊による孤立集落の発生並びに停電及び停電に伴う通信途絶地区の発生を想定、機能別に救助活動の展示を実施した。自衛隊からは、陸自第16普通科連隊、海自佐世保地方総監部、同第22航空群、同第61航空隊、空自第15警戒隊が参加し、人員・物資の輸送、孤立地区からの船舶による救助等の実動訓練を展示した。

自衛隊長崎地方協力本部は、新上五島町青方港において、防災関係機関・団体と意見交換を実施し連携を強化するとともに、五島市中央公園市民体育館の広報ブースにおいては、能登半島地震における災害派遣活動の写真等を展示することで災害派遣における自衛隊の活動をPRするとともに、防災意識の高揚を図った。

自衛隊長崎地方協力本部は、各種防災訓練等の地域行事に積極的に参加し関係機関との連携を強化するとともに、広報ブースの展示により自衛隊の活動に対する理解促進を図り、地域住民との良好な関係構築も大切にしながら今後も防災意識の高揚・普及を図っていく所存です。

(総務課)

◇自衛官のことや募集についての詳細は、自衛官募集のホームページをご覧ください → https://www.mod.go.jp/gsdf/jieikanbosyu/

■ガラポン抽選会

■記念撮影

■ミニ制服試着

南島原市有家町 堂崎 みなと市祭り
広報ブース参加

自衛隊長崎地方協力本部 島原地域事務所(所長 野口秀貴1等陸尉)は、南島原市有家町堂崎港児童公園前広場において、令和7年4月20日(日)に開催された「堂崎みなと市祭り」に参加した。地域密着型の小規模なイベントではあるが、B級グルメが味わえるケータリングや地元の地域特産品販売の出店等があり、地域の人々で大いに賑わった。島原地域事務所は、ガラポン抽選会や装備品のパネル展示、ミニ制服試着体験などを行った。中でもミニ制服試着は子供達に人気があり、陸・海・空の制服に着替えた子供たちは満面の笑みを浮かべ、父親、母親は子供の姿を熱心に撮影していた。また、「将来は自衛隊に入りたい」「自衛隊かっこいい」と好評であった。

来場者は約300名程であり、子供連れの家族が多く、自衛隊の部隊が駐屯していない地域であるが、地道に地域のイベントへ参加することにより、自衛隊の認知度向上につなげることができた。

引き続き自衛隊に対する理解を深めるとともに、一人でも多くの志願者獲得に繋がるよう所員一丸となって、募集活動に努めて参ります。

（島原地域事務所）

ツール・ド・壱岐島2025大会の競技運営を支援

■出走を今や遅しと待つ選手団

■出走前で待機中の役員車両

■大会のスタート位置

自衛隊長崎地方協力本部 壱岐駐在員事務所(所長 柳澤武美1等陸曹)は、令和7年6月8日(日)に、壱岐市内で開催された「ツール・ド・壱岐島2025」に参加した。「ツール・ド・壱岐島」は平成元年に島おこし事業としてスタートしたもので、島民挙げての取り組みや各ボランティアによる熱心かつ丁寧な支援が好評であり、平成26年の長崎国体では自転車競技(ロード)を壱岐島で開催する呼び水となったほか、多数のプロ選手が参加する国際的な自転車競技大会のひとつとなっている。

壱岐駐在員事務所は、毎年大会本部から競技運営の支援要請に基づき支援しており、1／2tトラックを所長自ら運転し、審判員及び自転車のトラブルに対応する技術者を輸送する任務に従事した。本大会以外にも、壱岐島内で実施されるマラソン大会(壱岐ウルトラマラソン大会、壱岐の島新春マラソン大会)についても長年競技運営を支援しており、今では各大会を裏から支える自衛隊車両の姿は、縁の下の力持ちを体現する自衛隊の一面として、島民からもすっかりお馴染みになっている。

自衛隊長崎地方協力本部 壱岐駐在員事務所は、今後も壱岐島内で企画される各種イベントに積極的に参加し、「島民に寄り添う」「島民と自衛隊との梯となる」基本に立ち返り、より多くの島民の皆様にご理解を頂きながら、志願者獲得を推進していく所存です。

（壱岐駐在員事務所）

予備自衛官招集訓練(5日間)を支援!

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 佐々木昌貴1等海佐)は、5月16日から20日までの間、第16普通科連隊(連隊長 土肥崇紀1等陸佐)(大村)が担任し、42名が参加した令和7年度最初の第1次予備自衛官招集訓練(5日間)を支援した。

自衛隊長崎地方協力本部は、隊友会講話・「応招確認システム」による応答訓練・即応予備自衛官有資格者への志願勧誘・表彰式等を実施した。

表彰式では、自衛隊長崎地方協力本部長が1名の方に対し永年勤続表彰を授与、その栄誉を称えた。

訓練実施部隊は、各種訓練・検定を実施する中で、特に駐屯地警護任務に必要な、駐屯地警備訓練に重点をおき、その練度維持・向上を図った。その中でも格闘技術は経年進化を続けているのに伴い、新たな格闘技術を身に着けようと予備自衛官の方々は真剣に訓練に励んでいた。

自衛隊長崎地方協力本部は、今後も予備自衛官の積極的な訓練参加を促進していき、引き続き予備自衛官等の勢力確保に努めていく所存です。

（援護課 予備自衛官班）

※永年勤続者表彰とは

表彰権者	表彰基準
防衛大臣	1予備自衛官として勤務した期間が30年以上 2招集訓練の勤務成績が良好 3表彰を受ける年度及び直近の2か年を連続して招集訓練出頭
陸上幕僚長	1予備自衛官として勤務した期間が20年以上 2招集訓練の勤務成績が良好 3表彰を受ける年度及び直近の2か年を連続して招集訓練出頭
方面総監	1予備自衛官として勤務した期間が10年以上 2招集訓練の勤務成績が良好
地方協力本部長	1予備自衛官として勤務した期間が5年以上 2招集訓練の勤務成績が良好

人事関連

表彰 令和7年6月10日付
令和6年優秀自衛隊地方協力本部表彰
陸上幕僚長褒賞
大村地域事務所 3等海曹 山田 達也

昇格 令和7年4月1日付
本部募集課 草野 純平

昇任 令和7年7月1日付
【准陸尉へ昇任】
本部 総務課 本間 秀一
【1等陸曹へ昇任】
諫早地域事務所 渡邉 敦彦
【1等陸曹へ昇任】
長崎募集案内所 大瀧 陽司
【2等海曹へ昇任】
大村地域事務所 山田 達也

新規採用 令和7年6月1日付
◎本部 総務課 非常勤隊員 板岡 理絵
◎相浦駐屯地援護センター 非常勤隊員 迫田 弥和

定年退職 令和7年6月26日付
永年のご活躍お疲れ様でした
◎本部付 3等陸尉 坂井 粘

インターネットからも応募できます
平和を、仕事にする 自衛官募集 検索
陸海空 自衛官募集
18歳以上～33歳未満までOK
※32歳の方は、採用予定月の末日現在、33歳に達していないこと。
守ろうみんなの国
募集コールセンター 0120-063792
（年中無休 受付時間 12:00～20:00）

◇地本だよりはホームページでも配信しています。→ https://www.mod.go.jp/pco/nagasaki/dayori/index.html